

かめのり大学院留学アジア奨学生

月次報告レポート

(2018年08月)

1. 研究について

博士論文では、①JNS と KNS の勧誘の約束のリマインドや遅刻に対する考え方を明らかにしたい。②日本語とクメール語における勧誘会話(断り)の構造の違いとその特徴を明らかにし、KNS の日本語の会話学習や指導法の基礎研究としたい。

①JNS と KNS の勧誘の約束のリマインドや遅刻に対する考え方を明らかにするために、JNS と KNS の大学生を対象にし、2018年6月にそれぞれ70人にアンケートを行った。

②日本語とクメール語の勧誘会話(断り)の構造を比較するために、両言語におけるそれぞれの会話の場面や状況、会話者の人間関係などの条件を一致させる必要がある。そのため、本研究では、ロールプレイを分析データとして用いる。データは録音して文字化し、KNS の会話は日本語に訳すこととする。

会話のデータは、JNS ペア、KNS ペアそれぞれ10組(女性同士5組、男性同士5組)、合計20組である。年齢差や会話者の人間関係などが分析結果に及ぼす影響を避けるために、大学の友人同士をペアにした。できる限り自然な会話を採集するために、実際に親しい友人の協力者を探した。先月(8月)カンボジアに帰って、10組(女性同士5組、男性同士5組)のクメール語の会話を収集した。ロールカードの内容は以下の通りである。

ロールカード A (日本語版)

役割	: 大学生(勧誘者)
場所	: 学生食堂
相手	: Bさんとは親しい友達で同じ授業を取ったり、授業以外の時間もよく一緒に遊んだり、食事をしたりしています。
状況	: Bさんと学食でご飯を食べた後、雑談をしています。あなたは <u>今週末にBさんと二人で夕食を食べに行きたい</u> と思っています。
すること	: Bさんと会話をして、夕食に誘ってください。Bさんの返事に自然に対応してください。勧誘の後しばらく雑談を続けてください。

ロールカード B (日本語版)

役割	: 大学生(被勧誘者)
場所	: 学生食堂
相手	: Aさんとは親しい友達で同じ授業を取ったり、授業以外の時間もよく一緒に遊んだり、食事をしたりしています。
状況	: Aさんと学食でご飯を食べた後、雑談をしています。
すること	: Aさんと会話をして、誘われたら断ってください。断る理由は自分で考えてください。勧誘の後しばらく雑談を続けてください。

## 2. 生活について

8月8日に帰国して、王立プノンペン大学（私が教えた大学）で会話のデータ収集を行った。そこで久しぶりに同僚や教えた学生と会えてとても楽しかった。

2年ぶりの帰国なので、プノンペンはいろいろ変わった気がした。特に、2店舗目のイオンモールができたことである。週末になると「イオンモールに行く」とよく周りの人の声が聞こえた。イオンモール2号店ができて、みんなとても喜んでいるようである。

先月は、クメール語の会話データが収集できたり、会いたかった人たちに会えたりとても充実したと思う。